



## ブート整合性の可視性

- [ブート整合性の可視性について \(1 ページ\)](#)
- [ソフトウェアイメージとハードウェアの確認 \(3 ページ\)](#)
- [プラットフォーム ID とソフトウェア整合性の確認 \(3 ページ\)](#)
- [イメージ署名の検証 \(6 ページ\)](#)
- [ブート整合性の可視性に関する追加情報 \(7 ページ\)](#)
- [ブート整合性の可視性の機能履歴 \(8 ページ\)](#)

### ブート整合性の可視性について

ブート整合性の可視性によって、シスコのプラットフォーム ID とソフトウェアの整合性情報が可視化され、実用可能になります。プラットフォーム ID は、プラットフォームの製造元でインストールされた ID を提供します。ソフトウェアの整合性ではブート整合性の測定値が明らかになり、それを使用してプラットフォームが信頼できるコードを起動しているかどうかを評価できます。

ブートプロセス中に、ソフトウェアはブートローダーアクティビティの各ステージのチェックサムレコードを作成します。

このレコードを取得して、シスコ認定レコードと比較し、ソフトウェアイメージが正規かどうかを確認できます。チェックサム値が一致していない場合は、シスコによって認定されていない、または未承認パーティによって改ざんされているソフトウェアイメージを実行している可能性があります。

### イメージ署名とブートアップ

シスコの構築したサーバーが Cisco IOS XE イメージを生成します。Cisco IOS XE イメージの場合、Abraxas イメージ署名システムを使用して、シスコの秘密 RSA キーでイメージに安全に署名できます。

Cisco IOS XE イメージを Catalyst 9000 シリーズスイッチにコピーすると、シスコの ROMMON ブート ROM がシスコのリリースキーを使用してイメージを検証します。これらのキーは、

Abraxas サーバーに安全に保存されているシスコのリリース秘密キーに対応する公開キーです。リリース秘密キーは ROMMON に保存されます。

Catalyst 9000 シリーズスイッチは、ブート整合性の可視性機能をサポートしています。ブート整合性の可視性は、ROMMON ソフトウェアが改ざんされていないことを確認するために、ROMMON ソフトウェアを検証するハードウェア トラスト アンカーとして機能します。

Cisco IOS XE イメージは、構築時にデジタル署名されます。バイナリイメージファイル全体に対して SHA-512 ハッシュが生成され、このハッシュがシスコの RSA 2048 ビット秘密キーで暗号化されます。ROMMON は、シスコの公開キーを使用して署名を検証します。このソフトウェアがシスコの構築したシステムによって生成されたものではない場合、署名の検証は失敗します。デバイスの ROMMON はイメージを拒否し、起動を停止します。署名の検証に成功すると、デバイスはイメージを Cisco IOS XE ランタイム環境で起動します。

ROMMON は、ブートアップ中に署名付き Cisco IOS XE イメージを検証する際、次の手順を実行します。

1. Cisco IOS XE イメージを CPU メモリにロードします。
2. Cisco IOS XE パッケージのヘッダーを調べます。
3. イメージに対して非セキュア整合性チェックを実行し、ディスクまたは TFTP で意図しないファイル破損が生じていないことを確認します。これは非セキュア SHA-1 ハッシュを使用して実行されます。
4. シスコの RSA 2048 ビット公開リリースキーを ROMMON ストレージからコピーし、シスコの RSA 2048 ビット公開リリースキーが改ざんされていないことを検証します。
5. パッケージのヘッダーからコード署名用署名 (SHA-512 ハッシュ) を抽出し、シスコの RSA 2048 ビット公開キーを使用して検証します。
6. Cisco IOS XE パッケージの SHA-512 ハッシュを計算してコード署名の検証を実行し、コード署名用署名と比較します。これで署名付きパッケージの検証が実行されたこととなります。
7. Cisco IOS XE パッケージのヘッダーを調べて、プラットフォームタイプと CPU アーキテクチャの互換性を検証します。
8. Cisco IOS XE パッケージから Cisco IOS XE ソフトウェアを抽出して起動します。



(注) 上記のプロセス中、手順3はイメージの非セキュアチェックであり、ディスクエラー、ファイル転送エラー、またはコピーエラーによる偶発的な破損に関してイメージを確認することを目的としています。これはイメージコード署名の一環ではありません。このチェックは、意図的なイメージの改ざんを検出するためのものではありません。

イメージコード署名の検証は、手順4、5、および6で行われます。これは、2048 ビット RSA キーで暗号化された SHA-512 ハッシュを使用した、イメージのセキュアコード署名チェックです。このチェックは、意図的なイメージの改ざんを検出することを目的としています。

## ソフトウェアイメージとハードウェアの確認

このタスクでは、スイッチの起動時に作成されたチェックサムレコードを取得する方法について説明します。特権 EXEC モードで次のコマンドを入力します。



- (注) 次のコマンドを実行した後で、メッセージ **% Please Try After Few Seconds** が CLI に表示されることがあります。これは CLI の障害を示すものではありませんが、必要な出力を取得するために必要な基盤となるインフラストラクチャの設定を示します。数分間待機して、コマンドを再度試すことをお勧めします。

メッセージ **% Error retrieving SUDI certificate** および **% Error retrieving integrity data** は、実際の CLI 障害を示します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>show platform sudi certificate</b> [ <b>sign</b> [ <b>nonce</b> <i>nonce</i> ]] 例 : Device# <b>show platform sudi certificate sign nonce 123</b>	特定の SUDI のチェックサム レコードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (オプション) <b>sign</b> : 署名を示します</li> <li>• (オプション) <b>nonce</b> : ナンス値を入力します</li> </ul>
ステップ 2	<b>show platform integrity</b> [ <b>sign</b> [ <b>nonce</b> <i>nonce</i> ]] 例 : Device# <b>show platform integrity sign nonce 123</b>	ブート段階のチェックサム レコードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (オプション) <b>sign</b> : 署名を示します</li> <li>• (オプション) <b>nonce</b> : ナンス値を入力します</li> </ul>

## プラットフォーム ID とソフトウェア整合性の確認

### プラットフォーム ID の確認

次に、PEM 形式でセキュアな固有デバイス識別子 (SUDI) チェーンを表示する例を示します。SUDI にエンコードされるのは、個々のデバイスの製品 ID とシリアル番号であり、何千ものデバイスからなるネットワーク上でデバイスを一意に識別できます。最初の証明書は Cisco Root CA 2048 で、2 番目はシスコの下位 CA (ACT2 SUDI CA) です。どちらの証明書も、



```
Fxyp7JBmGPPgAkY7rKsYENiNK2hiR7Q2O7X2BidOKknEuofWdJMNYMaZgLYLOHbJ
5oXaORxhUy3VRaxNl6qI7kYxuugg2LcAbZ539sRXe8JtHyK811LURNSGMIQ0S17pS
idGmrJJ0pEHA0EUVTZqEny3z+NW9uxLVSzu6+hEJYlqfI+Yef0DbVZly1cy5r/jF
yNdGuGKvd5agvgCly8aYMZa3P+D5S8sCAwEAAANvMG0wDgYDVR0PAQH/BAQDAgXg
MAwGA1UdEwEB/wQCMAAwTQYDVR0RBEYwRKBCBgkrBgEEAQkVAgoGnRMzQ2hpcEle
PVUxUk5TVEl3TVRjd05qSTFBQUFwZndBQUFBQUFBQUFBQUFBQUFBQUhtSlU9MA0G
CSqGSIB3DQEBcWUAA4IBAQCrpHo/CUyk5Hs/asIcYW0ep8KocSkbNh8qamyd4oWD
e/MGJW9Bs5f09IEbILWPdytCCS2lSyJbxz2HvVDzdxQdxjDwUNiWuu3dWMXN/i67
yuCGM+lA1AAG5dT6lNgWYHh+YzsZm9eoq1+4NM+JuMXWsnzAK8rSy+dSpBxqFsBq
E0OlPsaK7y2h8gs+XrV9x+D48OZQkTRXpxhJfiWvs+EbdgsAM/vBxTAoTJpVmXWN
Cmcj9X52Xl3i4MdOUXocZLO2kh6JSgOYGkFeZifJ0iDvMfAf0cJ6+cEF6bSxAqBL
veel+8LmeiE/2O9h6qGHPPDacCaXA2oJCDHveAt8iPTG
-----END CERTIFICATE-----
```

Signature version: 1

Signature:

オプションの RSA 2048 署名は、3つの証明書、署名のバージョンおよびユーザーにより提供されるナンスに対するものです。

```
RSA PKCS#1v1.5 Sign {<Nonce (UINT64)> || <Signature Version (UINT32)> || <Cisco Root CA
2048 cert (DER)> ||
<Cisco subordinate CA (DER)> || <SUDI certificate (DER)> }
```

シスコの管理ソリューションには、上記の出力を解釈する機能が装備されています。しかし、OpenSSL コマンドを使用した簡単なスクリプトを使用してプラットフォームの ID を表示して署名を確認することもでき、それによってシスコの一意のデバイス ID を確保できます。

```
[linux-host:~]openssl x509 -in sudi_id.pem -subject -noout
subject= /serialNumber=PID:C9600-SUP-1 SN:CAT2239L06B/CN=C9600-SUP-1-70b3171eaa00
```

## ソフトウェア整合性の確認

次に、ブート段階のチェックサムレコードを表示する例を示します。ハッシュ測定値は、連続してブートされたソフトウェアの3つの段階それぞれについて表示されます。これらのハッシュをシスコが提供する基準値と比較できます。出力に署名するオプションを使用すると、出力は正規であり改ざんされていないことを保証する機能が検証ツールに付与されます。リプレイ攻撃から保護するために、ナンスを提供できます。



(注) ブート整合性ハッシュは MD5 ハッシュではありません。たとえば、バンドルファイルに対して **verify/md5 cat9k\_iosxe.16.10.01.SPA.bin** コマンドを実行すると、ハッシュは一致しません。

次に、**show platform integrity sign nonce 123** コマンドの出力例を示します。この出力には、インストールされている各パッケージファイルの測定値が含まれます。

```
Device#show platform integrity sign nonce 123
Platform: C9606R
Boot 0 Version: MA0083R06.1810032017
Boot 0 Hash: 535AD9DC3D2A26C030D7DF6D4342FD52AB4DC6B1395DB18E7CA33F678A874B9E
Boot Loader Version: System Bootstrap, Version 16.11.1r[FC2], RELEASE SOFTWARE (P)
Boot Loader Hash:
C66199E7F63242A45EFAA0A8F8C5C17432FA13AF82F81596D5CFEE1FF1080F2107FEFFB48AC5DF88B41894AEC7AF87052717012BFF6185D34F579D9EF7184597
```

```

OS Version: BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036
OS Hashes:
cat9k_iosxe.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.bin:
3F4A10066EAAA30417D7D17395ADD71FFC0ED6A8A122A8A439D12A03C78EF38E8D281DEFA2D7CC15AA7EE63AA1344FEAF68AC6409D408F89277F35DB8EE55
cat9k-wlc.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
2F0894E3FA1332EDF2E2733EB4564EB57E1A417EF46B53AD1323D1B02BA7688667C84AC7ED274B6B3A5DD3D19EB7DA5DB13E9941A37C73256C7577F3A3A1
cat9k-webui.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
ADE97B8FA0AC1C2694ECA93C96F77DCC0E96D7D36134795A4197AF60B9E2E9FE582C0535E9CE11A5EED50542C6A94B55742E916185E333D3EF9E716D16AD0FDD
cat9k-guestshell.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
174AE72DF46F86D5ADD0A7344295A91C809CD42E6C12FEE29024215DAC89140511EE2EDFFEF8E5CFAD731B4276C85B3F7D5BF9386083CCE3EAC504E1E0400E1
cat9k-srdriver.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
64884593C2281B687374E283E14BFC89F69D37EB4C238E7D71FA280B940FD0D11F57BAFF16788AA054AEE6B89BC689D623DE25C743069538A7E83F146240
cat9k-sipbase.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
0AFF960435A7C9EA3522AC93E5CE1A683003C93CEBD4288A8AE481E3D9D8806451A23022AE5E810A010B6196B802CFA5D1354DDCC6B7A7120FF4A915B9ECF9
cat9k-espbase.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
6D5324CD00E578EFFF5C874620900ADEBFC38CD05B01E43B4E579E267D581145F5E8FCE5EDD09E12338FDB2A162A389BEDC951AF8C394F5FBAF4EAF4D7E9
cat9k-cc_srdriver.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
59362BDD62AB1E94297891D8ECFEB467FB28261B6D75F6442610DD41A6E54D69609C94D081D32142412CC69C5C88036F26E5F356B848ACBCE5692A423D92F
cat9k-sipspa.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
708B0D0869E841CD9220C916C566C46D07CE206FBAD294498E81A915E69F33063B9AFC0EBB5B048F250150E07EA37160AA8E5AAACD491E402C836A6322631175
cat9k-rpbase.BLD_V1611_THROTTLE_LATEST_20190203_030036.SSA.pkg:
F24F834707A3D0930F8E353E2494EFCB60FB60B2A1FEE5F9C322EBC675A0A5D94CC36195B41971F5B47383FB095BC731FB45407D42DE57EA14E3E6CEEFEE
PCR0: 7803FB049E7B11131B2FDACAF9B1918C28448E250054FE0C65D0317427A5EB1
PCR8: 0B65A1D00AA4AC815552170D11E5B4405C6D4B80453925E54F866D5BDF2B718A
Signature version: 1
Signature:

```

## イメージ署名の検証

次に、SHA-512ハッシュを使用した、ブートアップ中のイメージに対するセキュアコード署名チェックの例を示します。

```

switch:boot flash:packages.conf
boot: attempting to boot from [flash:packages.conf]
boot: reading file packages.conf
#
Performing Integrity Check ...
boot: parsed image from conf file: cat9k-rpboot.17.02.01.SSA.pkg

```

```

Loading image in Verbose mode: 1

```

```

Image Base is: 0x100099000
Image Size is: 0x2C83487
Package header rev 3 structure detected
Package type:30001, flags:0x0
IsoSize = 0
Parsing package TLV info:
000: 0000000900000001D4B45595F544C565F - KEY_TLV
010: 5041434B4147455F434F4D5041544942 - PACKAGE_COMPATIB
020: 494C4954590000000000000090000000B - ILITY
030: 4652555F52505F545950450000000009 - FRU_RP_TYPE
040: 000000184B45595F544C565F5041434B - KEY_TLV_PACK
050: 4147455F424F4F544152434800000009 - AGE_BOOTARCH

```

```

060: 0000000E415243485F693638365F5459 - ARCH_i686_TY
070: 50450000000000009000000144B45595F - PE KEY_
080: 544C565F424F4152445F434F4D504154 - TLV_BOARD_COMPAT
090: 000000900000010424F4152445F6361 - BOARD_ca
0A0: 74396B5F54595045000000900000018 - t9k_TYPE
0B0: 4B45595F544C565F43525950544F5F4B - KEY_TLV_CRYPTO_K
0C0: 4559535452494E470000000900000004 - EYSTRING

TLV: T=9, L=29, V=KEY_TLV_PACKAGE_COMPATIBILITY
TLV: T=9, L=11, V=FRU_RP_TYPE
TLV: T=9, L=24, V=KEY_TLV_PACKAGE_BOOTARCH
TLV: T=9, L=14, V=ARCH_i686_TYPE
TLV: T=9, L=20, V=KEY_TLV_BOARD_COMPAT
TLV: T=9, L=16, V=BOARD_cat9k_TYPE
TLV: T=9, L=24, V=KEY_TLV_CRYPTO_KEYSTRING
TLV: T=9, L=4, V=none
TLV: T=9, L=11, V=CW_BEGIN=$$
TLV: T=9, L=17, V=CW_FAMILY=$cat9k$
TLV: T=9, L=74, V=CW_IMAGE=$cat9k-rpboot.17.02.01.SSA.pkg$
TLV: T=9, L=20, V=CW_VERSION=$17.2.01$
IOS version is 17.2.1
TLV: T=9, L=53, V=CW_FULL_VERSION=$17.2.01.0.869.1580816579..Amsterdam$
TLV: T=9, L=52, V=CW_DESCRIPTION=$Cisco IOS Software, IOS-XE Software$
TLV: T=9, L=9, V=CW_END=$$
Found DIGISIGN TLV type 12 length = 392
RSA Self Test Passed

Expected hash:
DDAF35A193617ABACC417349AE204131
12E6FA4E89A97EA20A9EEEE64B55D39A
2192992A274FC1A836BA3C23A3FEEBBD
454D4423643CE80E2A9AC94FA54CA49F

Obtained hash:
DDAF35A193617ABACC417349AE204131
12E6FA4E89A97EA20A9EEEE64B55D39A
2192992A274FC1A836BA3C23A3FEEBBD
454D4423643CE80E2A9AC94FA54CA49F
Sha512 Self Test Passed
Found package arch type ARCH_i686_TYPE
Found package FRU type FRU_RP_TYPE
Performing Integrity Check ...

RSA Signed DEVELOPMENT Image Signature Verification Successful.

```

## ブート整合性の可視性に関する追加情報

### 関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9600 Series Switches)</i>

## ブート整合性の可視性の機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1	ブート整合性の可視性	ブート整合性の可視性によって、シスコのプラットフォームIDとソフトウェアの整合性情報が可視化され、実用可能になります。プラットフォームIDは、プラットフォームの製造元でインストールされたIDを提供します。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。